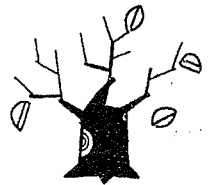


まめなかの

発行
西郷町城北町
隠岐病院長



ときは、予約以外の科のみを再来受付機にて受付してください。診察の順番は予約している科が最優先です。

受付一問一答

再来受付機が稼働して、早九ヶ月が経ちました。通院中の患者さんも慣れてきた頃だとは思いますが、当院を受診するのが初めての場合、分かりにくい点もあると思いますので、患者さんからよく訪ねられる質問を中心に説明させていただきます。

平成十年十二月一日より、再来受付機の稼働開始時間を午前七時四十五分から八時〇〇分開始に変更させていただきます。これは、受付窓口の開始時間と再来受付機との稼働時間を同じとし、患者さんにご迷惑をお掛けしないようにするためにです。ご理解とご協力をお願いいたします。

○新患・初診受付について

当院を初めて受診される方は、又は、初めて受診する科の場合、診療申込用紙をお書きになり、保険証を添えて受付窓口へ提出していただきます。窓口より受付票をお渡しいたしますので、受診される科の前でお待ちください。

○再診予約票の取り扱いについて

予約センターにて発行された再診予約票を持っていらっしゃる方は、再来受付機を通す必要はありませんので、予約された科の前でお待ちください。

予約以外に受診される科がある

受付票

隠岐病院

平成十年十一月十八日
午前10時02分
付番号 000008000
氏名 田中 様

受診科	内容	受付
内科	診察	047
外科	診察	054
泌尿器科	診察	000

受付票の見本

○受付機で複数科の受付（再診予約なし）をした場合、何科の前で待てばいいの？

○皮膚科の受付について

現在当院の皮膚科は毎週火曜日金曜日のパート診療のため大変ご迷惑をお掛けしてはいますが、診察時間が限られているため、受付人数を制限させていただいております。診察当日においても受付機の「診察」のランプが消えていることがありますが、その場合は窓口までお越しください。「診察」のランプが消えるからといって「薬」のランプを押さないようにご注意ください。

○保険証の確認について

保険証は毎月確認をさせていただきますので、月初めに初めて受診されるときは必ず受付窓口へ提出してください。又、保険証に変更などがあった場合には、その都度確認が必要ですので受付窓口へ提出してください。期限の切れたもの、資格のないものは使用しないようお願いいたします。

医事課



受付

○歯科の受付について

再来受付機では、歯科の受付はできません。歯科については完全予約制を行っておりますので、まず歯科外来へお越しになるか、お電話にて予約日時をお聞きください。予約日時が決まりましたら予約日の当日、直接歯科外来へお越しください。



○その他

第三者行為・業務上のケガ・交通事故・健康診断等、保険診療のできない場合がありますので受付窓口でお尋ねください。

以上、患者さんからよく尋ねられることをまとめてみました。説明が不十分で判らない点もあると思いますが、何なりと職員へお尋ねください。

医事課受付係

しぐき 嗜癖について

精神科医長 山根 康人



自己疎外的な癖が問題とされる代表的なものがアルコール依存症ですが、近年になって増加したものに拒食症や過食症などの摂食障害があります。またギャンブルとか、趣味、さらには仕事も自己疎外的となりえます。形は違っても共通する面が多く、これらを「嗜癖(しへき)」と呼びます。

普通は生活が破綻するほど重いものを指し、趣味や娯楽程度のことを含めません。しかしここで、嗜癖を自分とは無関係なものとしてみるのではなく、その世界の内に視点をおいて少し自由に考えてみると、次のようにいえるかもしれません。「手軽で快感をとまなうが、パターン化した深みに乏しい体験」または「『生』や『命』や『リアリティ』などへとつながっていない部分的な体験」。(ただ、言葉で表現するのは容易でも、『生』や『リアリティ』は知的な理解をはるかに超えることがらですが。)



な斜面に足を踏み入れて滑り落ちる人もいます。さらに下方には、酔えば不機嫌で愚痴や暴言を吐く酒に付き合う人も減ってきた、酒のことでまわりから責められるようになった、休日には昼間でも飲む、そんな人たちがいます。谷底あたりにいるのは、衰弱して動けない人、意識が曇って夢か現実か定かでない人、そんな人々です。このあたりになると、身体の変調がひどく、そのため心も正常に保てなくなり、身体は回復のため入院することがありますし、命を落とすことさえあります。うつ病などの病気による苦痛から逃れようとして嗜癖に陥ることもあり、これは薬で改善することもあります。たいていは日常の不快感を埋めようとして、あるいは傷ついた自分を癒そうとして、時にはそれが本当の癒しでないこと知りながら、嗜癖にはまるのではないのでしょうか。不快感や傷があるのは生きていく以上当然ともいえますが、人々の傷の総量は、少なくとも減ってはいかないように思います。傷は目に見えないし、しばしば本人も自覚していないし、表面的には豊かな世の中にみえるのですが…。

次頁へ

嗜癖に生理的または動物的側面があるのは確かですが、人間の場合は、嗜癖を起こすものを入手できる上に、対人関係の影響を受けて嗜癖が変質していきます。例えば飲酒した人が不機嫌になって周囲の人を心理的に傷つける。一方嗜癖行動という異常事態に遭遇した周囲の人たちの中には不安・焦り・苛立ち・怒りなどが生まれる。その感情が言葉や態度から伝わり相手を刺激して、相手にも同じような感情が生じる。そういった状況が新たに加わってきます。これは感情的連鎖反応とも呼べるもので、それが原因とは簡単にはいえませんが、原因でないことが原因にされて事態が混乱することも少なくありません。パニック状態に陥った人たちが、あたふたと動いたり、デマが飛び交うようなものです。嗜癖の治療に関わる職種の人たちは事態を悪化させることは少ないにしろ、嗜癖をゆがんだ形に変質させてしまうことは少なからずあるように思われます。

意志が弱いとか、やめる気がないとか、努力が足りないとか、入院して治せとか、治らないとか、家族が悪いとか、さまざまに誤解が嗜癖にはつきまとい、当人さえ誤解していることも少なくありません。嗜癖から抜け出せない人を見て私たちは不思議に思うのですが、次のように言えばその難しさが少し想像できるでしょうか。私たちは豊富な物や仕事などで、心の余裕や身体の健康が奪われているのに気づいた時、それらを手放そうとするだろうか。奪われていくことにさえ気づかなかったり、手放せない状況があったり、理由をつけて自分を納得させたりするのではないか。さらに、手放すという行為は、奪われたものに深く気つくことなしには、表面的な変化しかもたらさないのではないか。実は私たちが嗜癖を治そうとすること自体にも落とし穴があるように思えます。嗜癖を生やリアリティにつながらない体験としてみれば、嗜癖からの解放は必ずしも嗜癖行動がなくなった後に訪れるものではなく、嗜癖を抱えながら生きていく過程の中にあるともいえます。また人が嗜癖から抜け出そうとする時、大ぶりの反省や行動の変化が出てくることはありません。それがいけないということはないのですが、しばしば嗜癖の別の表現であったりします。嗜癖からの本当の解放は、むしろ静かに進行するものかもしれません。

医療技術就学生

隠岐病院では、本年に引き続き平成十一年度においても、医療技術諸学校に在学されている方及び進学される予定の方を対象に、次のとおり修学生を募集します。

一、概要

将来、隠岐病院に医療技術職員として勤務しようとする学生に対して、修学資金を貸与することによって、隠岐病院に勤務する医療技術職員の確保を図ることを目的とするものです。

二、来年度の募集職種

保健婦(士)、助産婦、看護婦(士)

三、貸与者予定人員

五名(平成十一年度)

修学資金の額
月額 五万円



四、貸与期間

貸与を決定した日の属する月から修業年限の最終(卒業月)までです。

五、修学資金の返還

隠岐病院医療修学資金貸与規則に基づく被貸与者は、月賦による均等返還又は、繰上げ返還をしていただきます。

六、申請手続

修学資金の貸与を希望される方は、次の書類を隠岐病院総務課まで提出して下さい。

- ・修学資金貸与申請書
- ・在学証明書及び医療技術諸学校長の推薦書等(猶予期間有)

募集期間など、その他の詳しい内容につきましては、島後町村組合総務課(二一〇五〇)又は、隠岐病院総務課(二一二三五六)までご連絡ください。(誌面でも掲載する予定です。)ご応募お待ちしております!





「隠岐病院を良くするための七ヶ条のお願い」の件について、下記の通り回答いたします。

- 一条 受付窓口は、病院の顔であって欲しい。
- 二条 ナースの意識改革
- 三条 食事時間の設定の実現化

この三項目については、ご指摘の通りであり、実現に向けて努力してまいりたいと思えます。

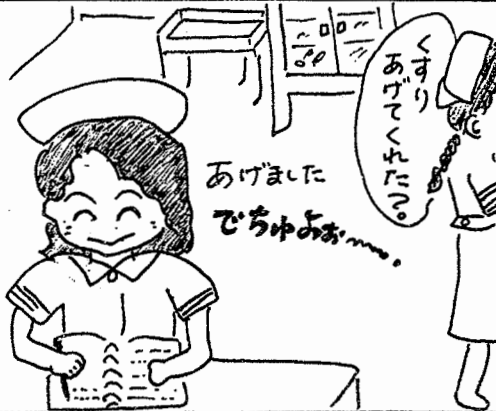
- 四条 手術室に是非BGMを
- 五条 面会時間の徹底化
- 六条 患者のプライバシーの保護

この三項目については、今後検討していく考えです。

- 七条 院内にキャッシュコーナーの設置を

この件については、以前、金融機関に要望をいたしました。サ

でちゅよ〜〜 いきなり2コマ作品



ンテラス内に既に設置しているため増設は無理ということでありました。しかし、ご利用の方々の利便性を考慮し、西郷郵便局のご好意により、服部文具店前へキャッシュコーナーが設置されましたのでご利用いただきたいと思います。



火曜日と金曜日が特に計算の待ち時間が長い」の件について、下記の通り回答いたします。

患者さんの待ち時間の問題については、新しいコンピュータの導入により、再来受付機の設置をはじめ再診予約制度を実施し、待ち時間は多少でも緩和されているのではないかと考えております。

ご指摘の件については、毎週火曜日と金曜日は皮膚科外来の診療があり、窓口業務が混雑するものと思われしますが、敏速に対処するように努力いたしますのでご理解をお願いいたします。

異動

採用 十一月一

* 串山 義則 (内科医長)

* 村上 伸子 (パート調理員)

* 門脇 ミチル (パート病棟婦)

退職 十一月一

* 鍛冶 武和 (内科医長)

― 益田日赤病院へ



先日マスコミが、『臓器移植法一年』で特集を組んでいました。

この法に基づいた移植例は、まだ一例もないそうです。なかには、本人の意思表示があっても、家族の反対でできなかった例もあるとか。▼日本で移植が受けられず海外にその道を探る方、移植しても不幸にも命を落とされた方、移植医療に関するニュースは後を絶ちません。▼「もし身近な人が脳死になったら…」 「もし身近な人に移植が必要になったら…」 「移植には賛成? 反対?」この機会に一度考えてみませんか?

ちょっと重たい話題に悩む M